

平成29年度 事業計画

平成29年度、前田教育会館蕉門ホールは、開館25周年を迎えます。

伊賀地域の文化芸術活動の発信の場として、平成4年11月に開館しました。

これまで、伊賀の先賢偉人の顕彰をはじめ、芸術文化の振興に必要な生涯学習講座等、様々な自主事業に取り組んで参りました。

今年度の25周年事業を機に、演劇を催せる舞台、茶会・句会もできる和室、会議・研修の他展示会場等にできる講座室、そして併設されている四季折々の趣のある日本庭園、といった多様性豊かな会館をアピールするとともに、会館の特性を生かした自主事業に取り組み、地域の文化振興、向上に努めます。

I. 公益財団法人前田教育会の財産運営について

1. 財産預金（定期預金）の管理及び運用状況

財産預金の管理及び運用は、定款に従い理事長が行うものとなっています。

基本財産預金 300,000 千円並びに特定資産の基金については、大阪市の永和信用金庫へ預け入れをしています。又、特定資産の文化振興事業積立金については、開館25周年記念事業に充当します。

永和信用金庫の経営の健全性、安全性を示す自己資本比率は 10.41%（H28.3 月末）で、国内基準の 4%以上を大きく上回り、安心できる水準を維持しています。

II. 公益事業

1. 奨学金の給付に関する事業

(1) 奨学金給付対象者 大学等進（在）学生 4名（内新規1名、継続給付3名）

奨学金給付額 960 千円（1人年額 240 千円）

新規奨学生の採用は、提出された給付願手続を基に選考委員会において審議し、選考を経て、理事長が決定します。

継続給付については、学業成績証明書及び生活状況報告書を提出するものとし、選考委員会の熟議を経て、理事長が決定します。

切磋琢磨に努め、国並びに地方、わけても故郷の活性化とその発展のため、地域づくりに貢献でき得る人材養成を期待するものであります。

奨学生の指導については、学術文化、社会経済、その他各般にわたる諸問題につき情報交換を行います。

奨学生（現役・卒業生）と当法人関係役職員との交流にも共通するとして、奨学生の当会自主事業への参加、協力の機会を設け「繋がり」をより一層強く築いていきます。

開館25周年記念事業において、現在活躍中の卒業生の協力を得て「奨学生（卒業生）による公開講座」（仮称）を開催します。

2. 芸術文化の振興に必要な生涯学習講座の主催、施設の貸与、並びに維持管理に関する事業

(1) 自主事業としての企画・活動を行います。

29年度は、開館25周年記念事業～地域とともに、あしたへ～をテーマに掲げ、蕉門ホールの特徴を活かした公演、前田教育会奨学生によるコンサート等、芸術文化に親しむ事業をはじめ、世代を越えた集い交流により、地域の伝統文化に触れ、体験を通して学ぶといった参加型事業に取り組みます。

○開館25周年記念事業

- ・劇団青年座伊賀公演「江戸怪奇譚～ムカサリ～」
- ・いちごに～一期一会のコンサート～
- ・子ども蕉門大学～ニコニコ（*^▽^*）笑顔集まれ～
- ・奨学生（卒業生）による公開講座（仮称）
- ・伊賀上野しょうもん亭
- ・伊賀地方の民謡の再発見
- ・蕉門大学公開講座～前田コレクションの名品～（仮称）
- ・蕉門大学合同作品展（仮称）
- ・北門遺跡出土品の展示（ロビー及びローケース内）
- ・前田コレクション陶磁器の展示（ロビー及びローケース内）
- ・「奥の細道」句碑と風景印の展示（ロビー）
- ・開館25周年のあゆみ（年表）の展示（ロビー）

(2) 前田教育会館は、地域住民の生涯学習の場として広く開放し、芸術文化を通じて、住民相互の融和を図り、地域の活性化に繋げようとする施設です。

(3) 施設、備品等の老朽化に必要な対応、また適時適切な補修を行います。

(4) 5周年記念事業に顕彰事業として取組んだ「田中善助伝記」の販売。

Ⅲ. 収益事業

1. 施設の貸与に関する事業

(1) 商業宣伝、営業またはこれらに類する目的の利用者への貸与を行います。

Ⅳ. その他

1. 寄附金の募集

ホームページ上に掲載

2. 各種会議の開催

(1) 理事会

定時理事会 5月、30年2月

臨時理事会 6月、11月

(2) 評議員会

定時評議員会 5月

臨時評議員会 30年3月

(3) 選考委員会

第29期生奨学金給付選考委員会 5月

(4) 文化振興事業運営委員会

事業の企画運営について検討 年7回

3. 伊賀市地域防災計画に定める指定避難所

平成24年4月1日災害時における避難場所に伊賀市より指定を受けた。

対象地域は大谷地区、府中地区の一部。